




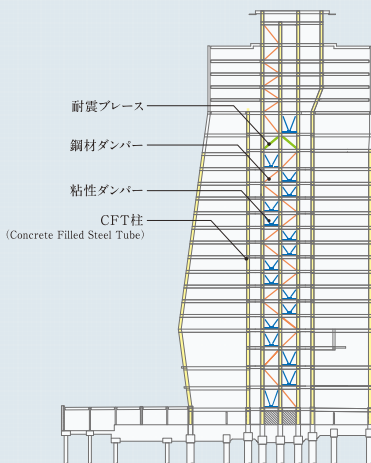
BCP

災害に強い地域のための安全・安心の最新技術。

□しなやかに揺れを吸収する制振構造

高剛性・高耐久コンクリート充填鋼管を用いたCFT構造の柱に加え、各階コア部分に粘性系と履歴系2種類の制振ダンパーと耐震ブレースをバランスよく配置することで、強風時の風揺れから直下型地震や長周期地震動などの幅広い揺れに対して制振効果を発揮します。

	耐震ブレース 対角線上に差し渡された補強材によって、地震や風による水平方向の力に対する強度を高めます。
	鋼材ダンパー 鋼管とモルタルに覆われた鋼板芯材が伸縮し降伏することでエネルギーを吸収します。
	粘性ダンパー 建物の動きに応じてダンパーが伸縮する際の粘性体の抵抗力によりエネルギーを吸収します。

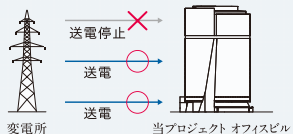


□災害その他トラブル発生時による停電への対応

直下型地震・長周期地震動への対策を施すとともに、中小地震動や強風による風揺れにも対応します。

— BACKUP 1 3回線スポットネットワークによる受電

1回線の送電が停止しても、他2回線から受電ができます。



— BACKUP 2 九州初認定導管による中圧都市ガスによる供給

ガスコージェネレーションシステム(発電機)による電源の確保。送電停止時もコンセント容量15VA/mを供給(火災時等除く)



※発電機切替時一時的に停電が発生します(数秒から数分)。無停電装置(UPS)はC工事に準備が必要。

□災害その他トラブルへの対応

災害時の帰宅困難者対策

オフィスロビーやカンファレンスゾーンを帰宅困難者の一時受入れスペースとして設定するとともに、3日分の必要物資の備蓄を実施。

上下水の途絶への対応

万一、上下水が途絶した場合でも、井戸ポンプとろ過装置に発電機電源を供給し、飲用水と雑用水を確保します。さらに、空調熱源に利用する蓄熱槽水を雑用水に転用します。